



ゆすりはたより

令和6年1月9日（火）

1月号

調布市立飛田給小学校

<https://www.chofu-schools.jp/tobitakyu-syo>
tobitakyu-sho@chofu-schools.jp

辰年 ～子どもたちが大きく飛躍する一年に～

校長 松田 隆

穏やかな天候の中で迎えた令和6年、新年を祝う正月に、予想だにしない大きな災害、事故が起きました。被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、新春恒例の箱根駅伝では、今年も数々のドラマが生まれました。前評判を覆し、大会新記録で意地の優勝を飾った青山学院大学の走りは圧巻でしたし、10位以内のシード権をかけた秒差の争いは、手に汗を握るものでした。一方で、レース中に体調を崩し、本来の走りができなかった選手、想定外のシード落ちとなったチーム、姿が見えていながらつながらなかったたすきなど、結果は悲喜こもごもでしたが、それらどの場面も感動させられたのは、チームの目標に向け、仲間と切磋琢磨し合って苦しい練習を乗り越え、本番で全力を出し切ろうとする姿の美しさが光っていたからです。子どもたちにも、今の自分に満足せず、更に上を目指す向上心をもつこと、「自分ならできる。」という自信を忘れず、苦しいことにも立ち向かう心の強さをもつことなどを伝えていきたいと思います。

3学期はとても短く、あっという間に過ぎていきます。一日一日を大切にし、学年の総まとめ、進級、進学への準備、どちらもしっかりと行わなくてはなりません。今年は辰年。龍が空高く昇るように、子どもたちがすくすくと成長することができるよう、職員一丸となって教育活動を進めていきます。変わらぬ御支援・御協力をお願い申し上げます。

1月の月予定

1日	月	元日
2日	火	学校閉庁日
3日	水	学校閉庁日
4日	木	
5日	金	
6日	土	
7日	日	冬季休業日終
8日	月	成人の日
9日	火	始業式 午前授業
10日	水	安全指導 午前授業 計測(高) とびっ子サミット(6年)
11日	木	給食(始) 交通安全指導① 計測(中) 5時間授業(3~6年) とびっ子会議 連合図工展始
12日	金	交通安全指導② 計測(低)
13日	土	
14日	日	
15日	月	全校朝会 書き初め展始 5時間授業(3, 4年) 委員会⑨(6校時) 連合図工展終

予定は状況により、変更
する可能性があります。

16日	火	
17日	水	避難訓練
18日	木	児童集会 とびっ子ロングタイム 大縄タイム(中休み)始
19日	金	
20日	土	
21日	日	
22日	月	全校朝会 郷土博物館出前授業(3年)
23日	火	
24日	水	大縄タイム(中休み)終
25日	木	体育朝会 大縄チャレンジ PTA講演会(3, 4校時)家庭科室
26日	金	
27日	土	調布市教育シンポジウム
28日	日	
29日	月	全校朝会
30日	火	
31日	水	4時間授業(1, 2年) 郵便局見学(2年)(2, 3校時) クラブ⑦(3年見学)(5校時) マラソンタイム(中休み)始



交通安全と冬の服装について

生活指導主幹

寒さが厳しくなりました。登下校の際に、フードをかぶっていて周りの物音に気付かなかったり、ポケットに手を入れていて転んだときに手が出なかつたりする場面が見受けられます。12月に家庭数で配布しました「冬期の服装、持ち物」をお子様とご確認ください。年末には児童が巻き込まれる痛ましい事故が続きました。交通事故から身を守るために、学校でも引き続き指導をしていきます。

校内研究の取組について

研究推進主任

本年度は、児童の思考力、判断力、表現力の育成を研究テーマにし、国語科の「書くこと」を通して研究を進めています。「何を伝えたいか」を明確にして、「書くこと」を通して自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにと、様々な取組をしています。「書くことは好きだけれども、どう書いてよいか分からないときがある。」という児童の声がありましたが、この1年で少しずつ自信が付いてきたことも確かです。書くことをより日常化し、それに必要な語彙力も増やしていけるよう、様々な工夫をしているところです。

5年生

連 合

音 楽 会



1組 児童

行く前はあまりきん張しなかったけれど、実際にグリーンホールに着いてみて、演奏しようとしたら、思っていたより人がたくさんいてきん張しました。失敗したらどうしようと思っていましたが、無事失敗せずにできて良かったです。友達とも協力しながら練習でき、最高の発表にできたと思います。

2組 児童

ぼくが担当した楽器は、けんばんハーモニカです。本番をやってみて、きん張したり、やり方をわすれてしまったりしたけど、上手くできました。連合音楽会で学んだこと、ゆう気を出すことやきん張しているときのほぐし方を学校生活でも生かしていきたいです。

1組 児童

連合音楽会は、学校の体育館よりも大きい、グリーンホールという場所でやったので、とても力があつたし、きん張もしました。だけど、みんなで練習を積み重ねて、協力し合って発表できたので、とてもやりがいがありました。そして、「合唱や合奏ってこんなにも楽しいんだ。」と改めて感じました。他校の演奏も上手で、聴けて良かったです。

2組 児童

ぼくは、けんばんハーモニカを担当しました。舞台上立つ前はすごくきん張していたけれど、舞台上上がったらきん張が少しだけほぐれました。その後、電気が消えて舞台が照らされたので、そのときすごくきん張して思うようにできませんでした。なのでこの失敗を生かし、6年生になって下の学年からすごいと思われるようになりたいです。

1組 児童

ぼくは、連合音楽会でとてもきん張しました。理由は、飛小を背負ってやると思って上手くできるか心配だったからです。けれどたくさん練習して、学習発表会では、飛小の子にも保護者にも認めてもらったから、絶対にできると思いました。本番では練習よりも上手くできたので良かったです。

2組 児童

ぼくは、けんばんハーモニカを担当しました。本番に、ぼくはきん張していなかったのですが、きん張している人が少しいたので、ぼくもきん張しました。しかし、みんなで力を合わせて発表できてよかったです。他の学校も、はく力のある曲やディズニーの曲を発表していて、全ての曲が良いと思いました。今の4年生も来年きっと楽しい思い出になると思います。